

旧美歎水源^{みたに}地水道施設（国府町）が 国の重要文化財に指定されました

近代化遺産としては県内初！



鳥取市水道局提供

昭和初期ごろの美歎水源^{みたに}地のダム

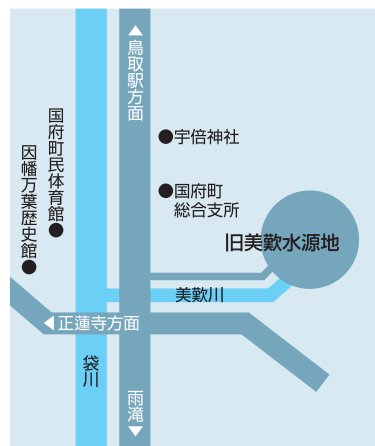
旧美歎水源^{みたに}地と近代化遺産

19世紀に開国した日本は、近代化を目指して、新知識を吸収し、伝統と西洋が織りなす独特の文明・文化を創り上げました。近代化遺産は、近代人の営みの結晶や、夢が刻まれた現代日本の基礎となった、心に潤いを与える文化遺産です。

美歎水源^{みたに}地は、大正・昭和を経た歴史の証人として、本市が近代化に向けて躍進していた時代の雰囲気や、最先端技術を取り入れた技術者の情熱、市民の水道への思いを今に伝えていきます。

水道施設は、難しい名称ですが、貯水池堰堤^{とろいせき}（堰堤Ⅱ堤防・ダム）を中心にして、貯水池の上流には美歎川^{みたにかわ}上流と通り谷^{とおりだに}の二つの水量をはかる『量水堰^{りょうすいせき}』、貯水池から下流には水を浄水する『緩速濾過池^{かんそくろくわち}』や、各濾過池からの送水を合流させて下流へ送り出す『接合井^{せつごうせい}』、送水量をはかる『量水器室^{りょうすいきしつ}』などが良好な状態で保存されています。

取水から貯水、浄水までの近代水道施設の構成を知ることができ、例は全国でも数少なく、歴史的な価値が高いものです。



江戸時代の水道

鳥取城下では、地質条件から元々飲料水が乏しくて、久松山山麓^{さんろく}を流れる袋川に頼っていました。

水道は、鳥取藩の時代にも、整備されましたが、給水は武家屋敷（現在の東町、西町）に限られ、城下町全体までは配水できませんでした。その貯水池の名残は、長田神社（東町）やひょうたん池（東町）などに残っています。

山陰初の近代水道誕生

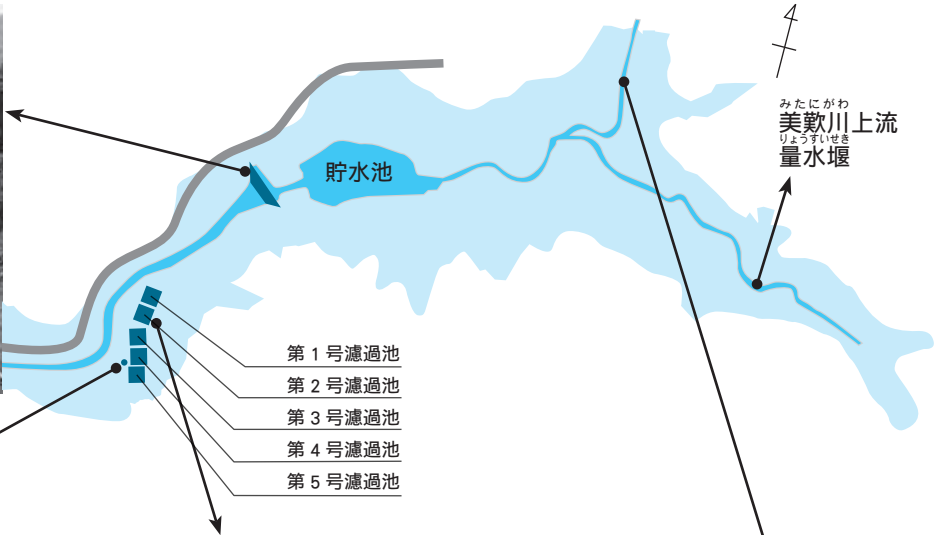
明治22年の市制発足当時に2万9000人だった人口は、山陰線の開通などで、明治45年には3万5000人に増加して都市化が進みました。一方で、水質の悪い井戸と川の水に頼る市民の衛生環境は、明治末まで改善されることはありませんでした。

初めて、近代水道の布設を鳥取市長に提案したのは、市内の一開業医の田中^{たなか}信慶^{のぶよし}です。



ちよすいちえんてい
貯水池堰堤

巨大な石垣を思わせる、表面が石張りの重力式コンクリートダム。堤長 103.3 ㍍、堤高 19.5 ㍍



せつごうせい
接合井



ろかいけ
濾過池遠景

手前の1号から4号までの濾過池は各 25.8 ㍍四方（増設の5号濾過池は 22.4 ㍍四方）。池の右側に洋館風の建物が立ち並ぶ。



とおりだにりょうすいせきき
通り谷量水堰

参加者募集！ 旧美歎水源地水道施設一般公開

普段は水源地の中までは入れません。この機会にぜひ県内初の近代化遺産をご覧ください。

と き 9月2日(日) 13:30~15:00
※雨天決行

【マイクロバスをご利用ください】

鳥取駅南口(ヤングハローワークとっとり前) 発 = 12:40

申込方法 氏名・住所・連絡先・交通手段(マイクロバス・自家用車)をご記入の上、ハガキ・ファクシミリ・メールで8月17日(金)までに下記まで申し込みください。

旧美歎水源地水道施設重要文化財指定記念展覧会 「鳥取ウォーターの歴史をたずねて」

●と き：9月4日(火)～11月25日(日)
ところ：鳥取市水道局

※そのほか、市内資料館などでの開催を予定しています。

■申込・問い合わせ先

市役所本庁舎教育委員会文化財課
〒680-8571 鳥取市尚徳町 116
☎(0857)20-3367・☎(0857)21-1594
電子メール kyo-bunka@city.tottori.tottori.jp

明治36年、田中は、医師としての使命感から市民の衛生管理を強く訴えました。結局、その時は実現できませんでした。4年後には市議会が全会一致で水道布設を決議することとなったのです。

明治45年には、日本初の近代水道創設に携わった三田善太郎が、小林柏次郎(鳥取市出身)の設計書などを参考にして「鳥取市水道目論見書」を作成しました。

大正元年に起工、同4年には美歎水源地から、鳥取市上町の配水池まで鉄管で送水し、市民の飲用と消火用に備えました。給水区域は、当時の鳥取市全域と鳥取歩兵第四十連隊で、貯水量は約51万立方㍍、給水予定

人口は5万人。総工費は、当時の鳥取市の年間予算の約5倍という大事業でした。

しかし、大正7年に鳥取市を襲った水害により、貯水池の土でできた堰堤が決壊し、大惨事となりました。そこで、日本初のコンクリート堰堤(神戸市)を設計した佐野藤次郎の指導の下、同8年から11年にかけて復旧工事を行い、給水を再開したのです。現在の堰堤はその時のものです。

その後、時代の流れとともに美歎水源地は、昭和53年に休止となり、市民の水がめとしての役割を終えました。貯水池堰堤は、平成12年から、砂防ダムとして活用されています。